



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 萩原電気ホールディングス株式会社
 コード番号 7467 URL <https://www.hagiwara.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	87,109	7.5	3,232	19.1	3,188	16.2	2,147	14.8
2018年3月期第3四半期	81,030	11.1	2,712	36.4	2,744	36.5	1,869	35.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,997百万円 (1.9%) 2018年3月期第3四半期 2,036百万円 (63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	245.14	244.92
2018年3月期第3四半期	230.07	229.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	59,844	30,889	51.6
2018年3月期	57,688	28,880	50.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 30,870百万円 2018年3月期 28,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		40.00		55.00	95.00
2019年3月期		50.00			
2019年3月期(予想)				55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭

詳細につきましては、本日(2019年2月8日)公表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	6.9	4,070	12.1	4,020	12.1	2,700	6.3	307.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	9,018,000 株	2018年3月期	8,701,400 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	186,665 株	2018年3月期	192,736 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	8,759,053 株	2018年3月期3Q	8,126,481 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更)

当第3四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用・所得環境や企業収益の改善が持続し、緩やかな回復基調を維持しました。一方、海外経済は、米中の貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題等により、先行きが一層不透明な状況となってきました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、国内生産・海外生産ともにはば前年並みとなり、全体としては総じて堅調に推移いたしました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は871億9百万円（前年同四半期比7.5%増）となり、営業利益は32億32百万円（前年同四半期比19.1%増）、経常利益は31億88百万円（前年同四半期比16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億47百万円（前年同四半期比14.8%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益の算定方法を変更したことに伴いセグメント利益の前年同四半期との比較ができないことから、前年同四半期比増減は記載しておりません。

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、電子制御が進む自動車向システムLSIなどの半導体や電子部品の販売及び技術支援、組込システムのPOC（概念実証）開発支援や受託開発事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き自動車生産台数が堅調に推移したことによる納入部品の増加、また先進運転支援システム搭載車両の需要増も継続した結果、デバイス事業の売上高は、705億61百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は21億64百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、IT機器、計測機器及び組込機器の販売からITプラットフォーム基盤構築及びIoTシステムの提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主要顧客企業の設備投資需要や情報化投資需要を的確に捉えるとともに、IoT領域やAI領域等の新規分野へ継続的な提案活動を実施した結果、IT分野を始めとして各分野において前期を上回る売上高となり、ソリューション事業の売上高は165億47百万円（前年同四半期比26.3%増）と大幅な増収となり、営業利益は10億68百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて21億56百万円増加し598億44百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて21億71百万円増加し550億31百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が17億43百万円減少しましたが、商品及び製品が31億28百万円及び仕掛品が2億23百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し48億13百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億46百万円増加し289億55百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億68百万円増加し249億4百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億32百万円及び電子記録債務が1億45百万円減少しましたが、短期借入金が5億36百万円及び未払法人税等が4億92百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少し40億50百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20億9百万円増加し308億89百万円となりました。

この結果、自己資本比率は51.6%（前連結会計年度末は50.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年11月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,610	6,560
受取手形及び売掛金	30,557	28,813
電子記録債権	1,594	1,694
商品及び製品	12,860	15,989
仕掛品	341	565
原材料及び貯蔵品	276	288
その他	622	1,122
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	52,860	55,031
固定資産		
有形固定資産	2,629	2,654
無形固定資産	108	136
投資その他の資産		
その他	2,090	2,022
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	2,089	2,022
固定資産合計	4,828	4,813
資産合計	57,688	59,844
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,585	11,352
電子記録債務	2,914	2,769
短期借入金	6,582	7,119
1年内返済予定の長期借入金	918	850
未払法人税等	526	1,018
受注損失引当金	11	—
その他	1,997	1,794
流動負債合計	24,536	24,904
固定負債		
長期借入金	3,925	3,750
退職給付に係る負債	119	59
その他	227	241
固定負債合計	4,272	4,050
負債合計	28,808	28,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,916	4,361
資本剰余金	4,407	4,861
利益剰余金	20,378	21,615
自己株式	△354	△343
株主資本合計	28,347	30,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	388	239
為替換算調整勘定	239	224
退職給付に係る調整累計額	△98	△89
その他の包括利益累計額合計	528	375
新株予約権	3	—
非支配株主持分	—	19
純資産合計	28,880	30,889
負債純資産合計	57,688	59,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	81,030	87,109
売上原価	73,161	78,113
売上総利益	7,869	8,996
販売費及び一般管理費	5,156	5,764
営業利益	2,712	3,232
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	15	18
為替差益	21	—
保険解約返戻金	30	0
その他	33	30
営業外収益合計	106	54
営業外費用		
支払利息	30	31
為替差損	—	22
売上債権売却損	37	27
その他	7	16
営業外費用合計	74	98
経常利益	2,744	3,188
特別利益		
固定資産売却益	0	—
子会社清算益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産処分損	1	1
投資有価証券評価損	—	17
投資有価証券清算損	—	0
特別損失合計	1	19
税金等調整前四半期純利益	2,749	3,169
法人税等	880	1,017
四半期純利益	1,869	2,151
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,869	2,147

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,869	2,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	△148
為替換算調整勘定	4	△14
退職給付に係る調整額	7	9
その他の包括利益合計	166	△153
四半期包括利益	2,036	1,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,036	1,993
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイスビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネスユニット 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,927	13,103	81,030	—	81,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	14	90	△90	—
計	68,003	13,118	81,121	△90	81,030
セグメント利益	3,148	727	3,875	△1,162	2,712

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,162百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,561	16,547	87,109	—	87,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102	92	194	△194	—
計	70,664	16,640	87,304	△194	87,109
セグメント利益	2,164	1,068	3,232	—	3,232

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社グループが持株会社体制へ移行したことにより、セグメント利益の算定方法を変更しております。これに伴い当社(持株会社)に係る全社費用及び収益を、各セグメントに配賦しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、全社費用に対する収益が存在せず当該変更後の算定方法による算出ができないことから、変更前の算定方法に基づき開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。